



発行所

株式会社 丸建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
 電話 代表 092(431)5361番
 FAX 092(431)7613番
 購読料 1ヵ月6,300円

北九州支局 Ⅸ093(921)5011
 佐賀支局 Ⅸ0952(62)2450
 長崎支局 Ⅸ095(827)5595
 熊本支局 Ⅸ096(363)1553
 大分支局 Ⅸ097(594)0518
 宮崎支局 Ⅸ0985(24)6688
 鹿児島支局 Ⅸ099(259)3426
<http://www.kyuukennippou.co.jp>

技術講習会を開催

緑化、水質浄化など各種工法

ミラクル協会

ミラクル協会(原裕

理事長)は27日、平成21年度(第13回)のミラクルソル工法技術講習会(写真)を福岡市のアクロス福岡で開催し、緑化や水質浄化、土木分野で提案する各種工法を紹介した。

講習会には官公庁の職員をはじめ、コンサルタント、建設業の技術者ら約200人が参加。冒頭、原理事長は「空き瓶や自動車のガラス廃材を再資源化したミラクルソルは、建設分野だけでなく、水質浄化や水産養殖用のろ過材としての用途を広げて、現在、20の工法を提案している。競争力のある工法として普及を展開することによって、地球環境の保護・保全、創出に繋がることを確信している」と挨拶した。

講習会では、原理事長が「ガラス廃材を再資源化した多目的環境材料—ミラクルソルを用いた環境土木技術—」、佐賀大学教授で協会の顧問を務める荒木宏之氏が「多機能性材料ミラクルソルが環境問題に果たす役割」と題してそれぞれ講

演した。

原理事長は、ミラクルソルを開発した経緯、その特徴などを説明したあと、吸水性・保水性に優れたミラクルソルを用いた斜面緑化や路面温度の上昇を抑制する透保水性舗装などの各種工法の概要を解説。また、環境土木分野で提案する新工法のFWG&チューブ軽量土工法を紹介し、「今後も時代のニーズに合った工法を考案してきたい」と語った。

荒木教授は、

水環境の分野でミラクルソルが果たす役割について紹介。有明海の底質改善や水質浄化のろ過材として利用した事例をもとに、微細な気孔による浄化能力の高さをデータを用いて説明した。また、特別講演では、「公共事業の現状と今後の取り組み」と題し、九州地方整備局企画部技術管理課の久野隆



博課長が公共事業を取り巻く状況や品質確保に向けた取り組みについて話した。